



阿寒摩周国立公園のゼロカーボンパーク登録 (釧路市、弟子屈町、美幌町、足寄町)

※令和4年6月27日時点

1. 阿寒摩周国立公園の概要

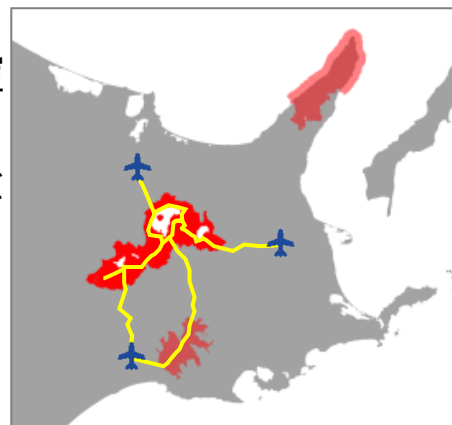
- ✓ 阿寒摩周国立公園は、エゾマツ、トドマツを中心とする北海道を代表する原生林が広がっている
- ✓ マリモの阿寒湖、透明度世界一の摩周湖、日本最大のカルデラ湖の屈斜路湖、5色に変化するオンネトーなど特徴的な湖と、それらを形成した火山活動の一端が今も見られる
- ✓ 釧路市 (R3.2.26)、弟子屈町 (R3.12.10)、美幌町 (R4.3.2)、足寄町 (R3.9.1) はゼロカーボンシティを表明



2. ゼロカーボンパークに向けた取組

① トレイルネットワーク×ゼロカーボン観光の推進

- 阿寒摩周国立公園では国立公園満喫プロジェクトの取組として、ひがし北海道3空港を結ぶ「阿寒摩周国立公園トレイルネットワーク」を構築し、ゼロカーボン観光を推進
- E-bikeの活用も含め、域内モビリティの脱炭素化を推進





阿寒摩周国立公園のゼロカーボンパーク登録 (釧路市、弟子屈町、美幌町、足寄町)

※令和4年6月27日時点

2. ゼロカーボンパークに向けた取組

②再エネ活用の推進及びRE100対応

- ・ 国立公園内の公共施設等において、温泉熱、バイオマス等の地域資源による再生可能エネルギーを積極的に活用
- ・ 国立公園内の主要施設については、2025年までにRE100の実現を目指す



③地域産材の活用とカーボンオフセットの取組

- ・ 足寄町、美幌町では、道内の自治体と連携し、カーボンオフセットクレジットに取り組み、適切な森林整備や管理により企業活動で排出されたCO2の吸収を促進

④地域のおいしい水PRでペットボトルごみ削減

- ・ 釧路市では、観光施設等に阿寒山系のおいしい水道水である「くしろ阿寒百年水」の給水スポットを設け、マイボトルの利用によるペットボトルごみの削減を推進

⑤世界基準の持続可能な観光地づくり

- ・ 弟子屈町では、世界の持続可能な観光地を選出する「Green Destinations TOP100」への登録を目指し、世界基準が備わった持続可能な観光地として国内外に発信

3. 環境省における対応

- ✓ 現地の地方環境事務所による伴走支援を進め、国立公園満喫プロジェクトの取組とも連動しながら、関係自治体による地域の脱炭素化等の取組を後押し